

(図表 119)。

- 後発医薬品を使用した際に窓口での薬代の負担感がどうなったかたずねたところ、「安くなった」が 50.2%、「それほど変わらなかった」が 31.2%、「わからない」が 15.7%となった (図表 121)。
- 後発医薬品使用に対する今後の意向をたずねたところ、「後発医薬品や先発医薬品にはこだわらない」が 40.1%で最も多く、「できれば後発医薬品を使いたい」が 21.0%、「できれば先発医薬品を使いたい」が 19.4%、「わからない」が 15.7%であった (図表 123)。また、後発医薬品の使用経験がある患者では「できれば後発医薬品を使いたい」が 31.4%と、使用経験がない患者の回答割合 (11.2%) と比較して 20.2 ポイント高かった (図表 125)。この他、後発医薬品の使用についての満足度が高い患者、窓口負担が「安くなった」という患者では、「できれば後発医薬品を使いたい」という回答割合がそうでない患者と比較して高い結果となった (図表 126、図表 127)。
- 後発医薬品を使用するにあたって必要なこととしては、「効果 (効き目) があること」が 73.5%で最も多く、次いで「副作用の不安が少ないこと」(58.0%)、「窓口で支払う薬代が安くなること」(50.5%) となった (図表 128)。

## 参考資料